

医療産業情報

<https://www.sangyo-times.jp/ir/>

発行所 **産業タイムズ社**

本社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル3階
TEL.03 (5835) 5891 (代) FAX.03 (5835) 5491
大阪支局 〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル26階
TEL.06 (7222) 8055 (代) FAX.06 (7222) 8056

ソウル支局/上海支局

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

禁無断転載・翻訳 <編集・発行人> 泉谷 涉

2021年(令和3年)4月9日(金曜日)第2373号

シリーズ

地域医療再生レポート

日本循環器学会学術集会で日本発ホットバルーンアブレーションを公開

ジョリーグッド製VR臨床システム使い日米4拠点で手術を見学、360度撮影が可能

3

病院施設整備

5

| | |
|---|----|
| 札幌医科大学、21年度計画を策定、施設整備に11億円、既存棟改修進む..... | 5 |
| 室蘭市、21年度当初予算策定、病院の建設改良経費に7.8億円を計上..... | 5 |
| 青森県大鰐町、21年度当初予算で診療所整備に5.6億円超を支出..... | 6 |
| 秋田県内で1000床の特養整備構想、構造改革特区で東京から高齢者呼ぶ..... | 6 |
| 横手市、21年度予算で横手病院に建設改良費10億円超を支出..... | 7 |
| 山形市立病院済生館、老朽化で移転改築へ、21年度に基礎調査を実施..... | 7 |
| 山形県白鷹町、町立病院と健康福祉Cを改修、21年度に基本構想策定へ..... | 7 |
| 郡山市の坪井病院、改築の基本設計は佐藤総合計画、22年度以降着工へ..... | 8 |
| 新潟県、県立病院経営委員会で市町村側はへき地4病院の県営維持を要望..... | 8 |
| 順天堂大学、さいたま市と越谷市の病院開設時期を変更、コロナ禍で遅れ..... | 9 |
| 哺育会、川越市の笠幡病院増床計画中止、コロナ禍の経営環境変化踏まえ..... | 10 |
| 東京都、20年11月に福寿会病院新設を審査、176床で22年7月完成..... | 10 |
| 横須賀市、新市立病院建設事業の施工は大成建設・堀建設・宇内建設JVに..... | 11 |
| 三重県総合医療C、21年度は情報システム改良やX線治療装置更新検討..... | 12 |
| 高島市民病院、新・病院改革プランを策定、5年間で10億円を投資..... | 13 |
| 大阪医療センター、建替整備工事は計画見直しへ、22年度に設計委託..... | 13 |
| 伊丹市、21年度は新統合病院の実施設計行、施工者決め22年度着工..... | 14 |
| 広島市民病院機構、安佐市民病院北館改修は戸田建設、工期11月末まで..... | 15 |
| 徳島県鳴門病院、21～24年度31億円投資、電カルやMRIなど更新..... | 16 |
| くらて病院、コロナ禍の影響で移転新病院の工事遅れ、開院が10月に..... | 16 |
| 西都市、西都児湯医療C移転を建設地から再検討する方針、コロナ禍が影響..... | 16 |
| 沖縄県、2病院統合新病院は農業大跡、34科・400床で基本計画策定へ..... | 17 |

ニュースフラッシュ/公告

18

| | |
|--|----|
| ◇「介護老人施設・老人ホーム計画一覧2020-2021」好評発売中..... | 2 |
| ◇新刊「病院計画総覧2021年版」好評発売中..... | 28 |

経営改善と感染防止に奔走する福祉・介護施設

介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2020-2021

- 20年度も介護分は高水準の予算
- 新型コロナが介護施設に大打撃
- 経営は特養が改善、老健は赤字が拡大
- 介護保険施設や高齢者住宅など約1500件の個別案件収録
- サ高住は大都市中心に25万戸体制へ
- 介護医療院は全国343施設に増加



内容構成

- ◆第1章 福祉・介護施設の最新動向
 - ① 高齢者福祉政策と市場動向
 - ② 調査レポート(福祉施設の経営状況、倒産動向など)
 - ③ 全国各地で進むCCRC
 - ④ サ高住の整備状況
 - ⑤ 保健福祉計画・介護保険事業計画の現状と展望
- ◆第2章 高齢者住宅・介護事業大手75社の最新動向
- ◆第3章 都道府県の保健福祉計画
- ◆第4章 全国介護老人施設・老人ホーム個別整備計画一覧

■定価…16,500円(税込) ■体裁・頁数…B5判 384頁

WEBにてサンプル公開中

<https://www.sangyo-times.jp/>

(お申し込みはFAX03-5835-5492で!)

「介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2020-2021」申込書

申込 年 月 日

| | | | |
|--------|---------------|-----|----------|
| 所在地 | 〒 | | |
| フリガナ | | | 電話 () 局 |
| 会社名 | - | | |
| 御購入部課名 | 担当者 | ご芳名 | |
| E-mail | | | |
| お冊申込数 | 定価16,500円(税込) | × | () 冊 |

出版物の
お問い合わせ先

株式会社産業タイムズ社
〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-10-5
TMMビル3階
販売部 TEL.03 (5835) 5892
FAX.03 (5835) 5492
広告 TEL.03 (5835) 5893
編集 TEL.03 (5835) 5896

法人のお客様:
申込書到着後、請求書を同封にてお送りします。
個人のお客様:
代引きにてお送りします
(手数料330円を別途ご負担願います)
送料500円
(税込5,000円以上のご注文で送料無料)

日本循環器学会学術集会で日本発ホットバルーンアブレーションを公開

ジョリーグッド製VR臨床システム使い日米4拠点で手術を見学、360度撮影が可能

第85回日本循環器学会学術集会在、3月26～28日にパシフィコ横浜（横浜市）で開催された。3月27日には、学会長主催セミナー「VRによる最新医療体験～多拠点リモートVR国際医療セミナー」が開かれ、360度を見渡せるVR（仮想現実）技術を駆使した最新術式の臨床報告がなされた。

学会長の奈良県立医科大学 循環器内科学教室教授の齋藤能彦氏は、学術集会全体について「医療や医学研究はもちろん社会全体が大きな転換期に差し掛かっている。2018年末に『脳卒中・循環器病対策基本法』が公布されたことを受け、学会のテーマを『NEXT STAGE-Future of Medicine and Community』としていたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界が大きな変革を余儀なくされ、意に反して真の『NEXT STAGE』となった。本庶佑先生と山中伸弥先生の2人のノーベル医学・生理学賞受賞者からそれぞれ真下記念講演とWCC Special Lectureを、また現在循環器基礎研究の世界のトップリーダーであるEric Olson先生からMikamo Lectureを、

さらに世界の著名な研究者から15の特別講演を賜ることは大変大きな喜びである」と語った。また『医療と健康のMIRAI』を特別企画し、Big Data、AIを用いた未来の医療に関するシンポジウムや、健康寿命日本一を目指して奈良県医療行政をリードされている荒井正吾知事による特別講演も企画。21年3月発表の、脳卒中と循環器病克服第2次五カ年計画に焦点を当てたシンポジウム、日本循環器連合（循環器関連学会）による8つのシンポジウム、COVID-19に関連した2つのシンポジウム、若手医師によるU40心不全ネットワーク企画セッションや、ISHR U45企画セッション、初試みの完全ヴァーチャルの市民公開講座を開催するほか、2000題以上の一般演題を応募いただいた」と説明。

学会長主催の「VRによる最新医療体験～多拠点リモートVR国際医療セミナー」（3月27日）では、リモートVR臨床システム（ジョリーグッド製）を使い、奈良県立医科大学附属病院 循環器内科医長の渡邊真言氏がTAVI（経カテーテル的大動



齋藤能彦 学会長



渡邊真言 医長

脈弁留置術)について、獨協医科大学 埼玉医療センター 循環器内科 准教授の中原志朗氏はホットバルーンアブレーションの臨床VR映像を用いた講演を行った。TAVIは、大動脈弁狭窄症の治療法で、通常手術が難しい高齢者や、重症疾患がある人、開胸手術や放射線照射の既往のある人向けに開発された術式。ホットバルーンアブレーションは、カテーテル先端に付けたバルーン(風船状の器具)内の液体を温め、その熱で心房細動の原因部位をアブレーション(焼灼)治療するという日本発の最新治療。会場のパシフィコ横浜と、獨協医科大学・埼玉医療センター、ラトガース・ニュージャージー州立医科大学、ハーバード大学ブリガムアンドウィメンズ病院研究室(ボストン)を結んでVR技術を使って手術を見学する体験セミナーが行われた。チーム医療を、医師や看護師、技師の視点から360度方向で臨床体験できるVR技術とシステムは絶賛され、米国の大学側からはホットバルーンアブレーションについて医師手元の術式作業をもっと詳細に見たかったなどの意見が出された。

ジョリーグッドのVRは、技術や体験を本人視点で360度体験学習できる。多接続リモートVR臨床システムは、集まらない学会を実現し、また、離れていてもリアルな治療現場を共有できる。学

会会場でタブレット端末を使ってVRゴーグルを遠隔操作、インターネットを介して各地の病院から、講師と会話をしながらVRでリアルな臨床体験(術者視点を360度体験)ができる。手術室に高精度360度カメラとサーバーを常設することで、医療スタッフが自ら360度撮影できる。クラウドにライブラリー化することで、医大・看護学校・診療所などで臨床実習できる。学術集会での「多拠点リモートVR国際医療セミナー」に参加した医師からは「コロナ禍で、臨床現場に入ることは難しい状況になっていることから、このオペクラウドVRシステムを使えば、遠隔地でもリアルな治療現場を体験・学習できる。研修医のほかに、現役医師にとっても有意義なVRシステムである」と称賛された。

同社によると、21年3月期の省庁事業では、5事業で採択され、「外傷診療におけるVR遠隔臨床学習プラットフォームの構築」では、日本医療研究開発機構(AMED)が30施設以上へ導入、救急・外傷関連3学会とは共同開発に取り組んでいる。このほか、救急救命士、看護師、介護福祉士、調理師の教育にも用いられる。VR技術は、働き方改革(在院時間減)、コロナ禍(集まらない立ち入れない)、チーム医療(トレーニングの場がない)の医療課題解決で期待されている。同社は、制作、運用システム、AI行動解析を支援する。

(笹倉聖一記者)



中原志朗 准教授

病院施設整備

札幌医科大学、21年度計画を策定、施設整備に11億円、既存棟改修進む

北海道公立大学法人札幌医科大学（札幌市中央区南1条西17、Tel.011-611-2111）は、2021年度の年度計画を策定した。附属病院に関する項目としては、神経再生医療の推進や専門医療の充実などを掲げている。同病院では今後、改修工事も計画されており、その動向が注目される。

21年度計画における附属病院に関する項目では、神経再生医療の充実および関連施設との診療体制の構築に取り組むほか、神経再生医療の実施に際し、病床の充実に向けた検討など患者受け入れ体制の整備について取り組みを進める。また、拠点病院としての中核的な役割を果たすため、がん、肝疾患、エイズなどの専門医療の充実に取り組む。

また、患者ニーズを踏まえた病院施設の改修など環境改善に向け取り組むことや、患者サービスの充実や環境改善に取り組むことも掲げている。

施設・設備の整備に関しては、抜本的な療養環境などの改善を図るため、「札幌医科大学附属病院既存棟改修計画」に基づき既存棟の改修を進める。21年度は改修第3期工事に着手し、着実に工事を進める。また、手術室や高度救命救急センター、集中治療部における診療機能の強化を図るため、手術支援ロボット対応手術室、熱傷ケアユニットの整備なども進めていく。さらに21年度はICU病床の増床工事に着手するとともに、各工事の円滑な実施に向けて環境整備などを行う。

21年度の予算としては、附属病院の収入は272億1700万円。支出では、教育研究経費では19億

6600万円、診療経費177億3000万円、大学全体の施設整備費には11億5100万円を充てる。

既存棟の改修については、第3期の工期は24年8月3日までで、大成・伊藤・岩倉JVが落札した。工事内容としては、病棟部門の6床室の4床化や個室と準個室の増床、外来診療棟の診療スペースの拡充や中央診療部門の高度救命救急センターと集中治療部門の機能強化のほかに、照明のLED化や発電能力の増強などの長寿命化および改修を行う。

室蘭市、21年度当初予算策定、病院の建設改良経費に7.8億円を計上

室蘭市（北海道室蘭市幸町1-2、Tel.0143-22-1111）は、2021年度当初予算案をまとめた。病院会計には16億1898万7000円を計上し、病院の建設改良に要する経費として7億8261万9000円、附属診療所の運営に327万1000円を充てる。

医療の分野では、救急医療の確保に7577万3000円、高度医療に要する経費として7658万5000円、院内保育所の運営に3459万3000円、公立病院改革プランに43万2000円などを計上する。また、感染症に対する経費としては717万7000円を充てる。

福祉分野では、養護老人ホームあいらん建設費償還補助金に1462万7000円、ケアハウス建設費償還補助金1122万円などを充てる。

なお、病院事業収益は、前年度比4億5257万5000円増の99億9831万2000円で、そのうち医療収益は同1億4540万9000円減の84億1994万4000円を見込む。病院事業費用は同2億1394万4000円増の102億492万1000円を計上する。

青森県大鰐町、21年度当初予算で診療所整備に5.6億円超を支出

大鰐町（青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館5-3、Tel.0172-48-2111）は、2021年度当初予算を発表し、町立大鰐病院の有床診療所整備について、建設工事費用などを計上した。

当初予算では、診療所整備事業費として5億6483万円を計上した。うち5872万円は県が負担している。またこれとは別に、病院事業会計支出金として2億7423万円を支出する。

現在大鰐町では過疎化・少子高齢化が急速に進んでおり、大鰐病院については今後も厳しい病院経営状況が見込まれている。このことから、急性期から回復期・慢性期への病床機能分化、役割の明確化、病床数の変更なども含めた病院の在り方の見直しを進め、施設の建て替えと有償診療所化を行うこととなった。

計画では、新診療所は現敷地南側の駐車場スペースに建設し、規模は平屋建て一部2階建て延べ約1650m²。病床は現行の60床から、1床あたり10.65m²で19床まで減らす。また外来診察室4室やCT室、X線TV室、検体検査室、リハビリ室などを設け、マルチスライスCT装置、X線TV装置、超音波診断装置、電子内視鏡システムなどの医療機器を更新して導入する。診療科目は内科、小児科、外科の3科目。

基本設計・実施設計および既存施設解体・外構設計は久慈設計が担当している。事業費は合計で約13億円を見込んでおり、建築工事費が7億4200万円、外構工事費が8300万円、既存施設解体工事費が3億2900万円となる見通し。

秋田県内で1000床の特養整備構想、構造改革特区で東京から高齢者呼ぶ

（福）正和会や秋田銀行など秋田県内の企業や法人14者からなる高齢者地方移住推進協議会は、秋田県内で段階的に延べ1000床分の特別養護老人ホームを建設し、東京都から高齢者を受け入れる構造改革特区構想を発表した。今後は国や東京都、秋田県などとの協議を重ね特区の実現に向けて動いていく方向で、認められれば2022年度から特養の建設に着手したいとしている。

同協議会は、現在東京で進む高齢者増と新規介護施設整備の困難さという事情を背景にこの構想を進めたと説明。東京都内の自治体が秋田県に施設を開設し、都民がその施設に入居できるようなスキームを提唱した。現在の老人福祉計画では、自治体が都道府県の垣根を越えて施設整備計画を策定できないため、県を越えた施設整備ができるように構造改革特区を申請することとなった。

計画に当たっては、秋田県内で空港や新幹線などの交通利便性が高い秋田市や仙北市などを対象として想定。建設候補地は4万m²程度を想定している。計画では最大1000床の特別養護老人ホームを段階的に建設する想定で、全部で延べ5万m²程度の低層施設を複数建設していく見通し。

建設事業費は約170億円を想定しており、国や東京都の自治体から補助を受けたいとしている。特養の整備主体となる法人の選定については未定だが、東京都の公募や協議会が委託して募集する方法が考えられるとしている。

今後は同構想に対する東京でのニーズや事例などを調査し、東京都や都内自治体などと協議を重ね、9月に国に対して構造改革特区の申請を行う。認定された場合は22年3月ごろの認定を想定しており、初弾工事の発注は22年9月ごろを想定している。

横手市、21年度予算で横手病院に建設改良費10億円超を支出

横手市(秋田県横手市中央町8-2、Tel.0182-35-2111)は、2021年度当初予算案を発表した。医療施設の整備に関するものとしては、病院事業会計において市立横手病院の建設改良工事の費用に10億円超などを計上している。

病院事業会計では、21年度の当初予算の合計支出について、81億7000万円を計上した。うち資本的支出は13億9000万円で、改修工事減などにより前年度と比べると減少した。

資本的支出のうち、市立横手病院の資本的支出は10億1800万円で、建設改良費として6億2677万円を計上した。うち、20年度から続いている改修工事には3億6194万円を計上。また、大森病院の資本的支出は3億7200万円で、建設改良費は1億560万円を計上している。

企業債については、横手病院で医療機器整備事業のため2億2760万円、医療施設整備事業のため2億9290万円、大森病院で医療機器整備事業のため3020万円、医療施設整備事業のため7450万円を限度として起債する。

また、重要な資産の取得の項目において、横手病院にて高圧蒸気滅菌装置、電子カルテシステム仮想サーバー、ナースコールシステムをそれぞれ一式取得するとした。

介護施設に関するものとしては、一般会計において地域介護・福祉空間整備等施設整備事業として1848万円を計上。主に介護施設のICT化に関する費用を補助する。

山形市立病院済生館、老朽化で移転改築へ、21年度に基礎調査を実施

山形市立病院済生館(山形市七日町1-3-26、Tel.023-625-5555)は、病院の移転改築を計画しており、2021年度に基礎調査を行う。移転先は市の中心エリアを見込んでいる。

同病院は診療科目30科、病床数528床で、地域の急性期中核病院として機能している。現有施設は1992年の建設で、施設規模は敷地1万9138m²にSRC造り地下2階地上11階建て延べ4万3527m²を展開している。

病院施設はこれまで、内視鏡室の移設拡充や内科診察室の拡充など随時可能な対応を行ってきたが、高度医療を提供する上で手術室や救急室、放射線室などの広さが十分でなく、入院患者の療養環境の点でも老朽化と狭隘化への対応が課題となっている。

なお、現地での建て替えは難しいため、市の中心エリアにおいて移転改築を行う予定で、早期に移転場所を決める予定。

市の21年度予算において約1000万円を計上し、新病院に求められる機能、規模など基本的な方向性を示すための基礎調査事業に着手する方針である。

山形県白鷹町、町立病院と健康福祉Cを改修、21年度に基本構想策定へ

白鷹町(山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833、Tel.0238-85-2111)は、白鷹町立病院(白鷹町大字荒砥甲501)と隣接の健康福祉センター(白鷹町大字荒砥甲488)の改修を計画しており、2021年度に基本構想策定に着手する予定である。

同病院は1997年に開院し、診療科目5科(内、

外、整、婦、皮)、病床数60床を有している。町内唯一の病院として2次救急を提供するほか、町の保健・医療・介護・福祉の連携において中心的役割を担っている。

病院施設は築後20年以上が経過し、老朽化が進んでいるなどの理由から、20～24年度を対象とする第6次白鷹町総合計画前期基本計画の中に、改修計画の検討などを盛り込んでいる。町ではこのほか病院の充実施策として、医療体制確保(常勤医師の確保および長期定着化など)、施設基準への対応などを含んだ建物の改修、訪問看護業務の円滑な移行による在宅医療の強化、TV通信システムの活用、5G、4k、8kなどの通信・放送技術の活用を見据えた福祉施設や在宅診療に遠隔医療の取り入れなど、機能強化の検討、保全計画を踏まえた設備の改修、病院経営の健全などに取り組む方針だ。

町では、隣接の健康福祉センター(2階建て延べ1699m²)も含めて改修工事を実施する方針であり、21年度予算に約500万円を計上し、基本構想策定を行う考え。順調に進めば22年度に改修に着手する見通しである。

郡山市の坪井病院、改築の基本設計は佐藤総合計画、22年度以降着工へ

(一財)慈山会医学研究所附属坪井病院(福島県郡山市安積町長久保1-10-13、Tel.024-946-0808)は、老朽化により耐震性などに問題のある同病院の改築を計画している。現在、佐藤総合計画で基本設計を進めており、着工は早くても2022年度以降の見通しである。

同病院は、診療科目13科(内、外、消内、消外、大外、呼内、呼外、乳、婦、放、麻、病診、緩和)、病床数230床(緩和ケア18)。地域のがん診療連

携拠点病院となっており、院内に緩和ケア専門医、緩和ケア認定看護師、各病棟看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、作業療法士、管理栄養士などで組織する緩和ケアチームを組織するなど緩和ケア治療に定評がある。

現在の病院施設は、1977年当時の建物で築後40年以上を経過しているため老朽化が進み、耐震性に問題があるなどの理由から改築を計画している。改築場所は、同病院隣接の駐車場を活用する予定。

現在、佐藤総合計画で基本設計に着手しており、コロナ禍もあり、施設規模、工期など慎重に検討を進めており、着工は早くても22年度以降の見通しである。

新潟県、県立病院経営委員会で市町村側はへき地4病院の県営維持を要望

新潟県(新潟市中央区新光町4-1、病院局経営企画課＝Tel.025-280-5553)は、2020年度第3回県立病院経営委員会を開催した。同委員会では、へき地病院の地元市町村との意見交換の結果などを報告。市町村としては、引き続き県立・県営を望む声が出たが、県としては市町村立でのメリットを提示したうえで丁寧に議論を進めるとの意見が出た。

同委員会では、19年度における県立病院事業の取り組み評価のほか、県立病院の役割・あり方について議論した。へき地4病院(松代・柿崎・津川・妙高病院)については、各市町村と意見交換を実施したが、市町村側からは「赤字原因への対処がされない限り、具体的な話に入りづらい」といった運営主体転換へのマイナスな意見が出た。また、市町村側としては引き続き県立・県営を望んでおり、へき地病院の今後については、県と市

町村だけで話し合うのではなく、地域医療構想調整会議で議論すべきとの意見も出ており、早期の運営主体転換は難しいもようだ。さらに、新型コロナウイルス感染拡大や豪雪の状況を鑑みたくえで今後の医療体制を検討し、救急・入院の役割分担についても連携する病院も含めて総合的な議論が求められるとの意見も出た。

同委員会では、これらの市町村の意見を受けて、病床利用率の低い病院は有床診療所にするなど、県立病院として個々の病院に合ったダウンサイジング案も検討すべきではないかという意見や、「市町村立病院への良いイメージができない限りは県立病院の押し付けになってしまうのではないか」といったコメントも出ており、今後もさらなる議論・協議が必要とされるもようだ。

加茂・吉田病院については、公設民営などの民間活力を活かした運営に向けて検討が進められており、運営に関心が高い法人との意見交換などをすでに実施している。県央基幹病院の建設に伴う県央医療圏の再編に向けて、さらなる議論が進められていく。

順天堂大学、さいたま市と越谷市の病院開設時期を変更、コロナ禍で遅れ

(学) 順天堂大学(東京都文京区本郷2-1-1、Tel.03-3813-3111)は、さいたま市緑区に新設する「(仮称)順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター」と、増床を計画する越谷市の「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院」について、開設時期を調整中へと変更する。特に埼玉国際先進医療センターでは、コロナ禍で提供する医療機能の再検討などを行っており、現状、基本設計にも至っていない状況で、県は早期に開院時期の提出を求めている。

埼玉国際先進医療センターは当初、20年度(21年3月まで)の開院を目標としていたが、土地の取得や敷地内の道路の廃道などの調整に時間を要したほか、病院建物の延べ床増加に伴い、環境アセスの実施が必要になったためスケジュールが遅れていた。さらに、今回のコロナ禍で感染症の対応を経験し、大学病院として地域にどのような貢献ができるか、今後の外来機能をどうするか、感染制御やAI、IoT、健康増進など各機能の再検討を行うこととした。

また、工期は約3年を計画しており、21年にも着工する見通しだったが、基本構想の策定や設計着手の遅れなどに伴い、着工時期についても遅れる可能性がある。

同センターの所在地は、さいたま市緑区美園3-2-1～16ほか。緑区と岩槻区にまたがる約7.3haに800床、診療科目28科目の新病院を建設するもので、病院機能のほかに大学院医学研究科や、看護学部の併設、教職員・学生用の宿泊施設の整備なども検討している。また、救命救急センター、周産期母子医療センター、災害拠点機能、小児救急拠点機能、地域がん診療連携拠点機能などを備え、県内最大級の病院ならびに医療拠点とする。

詳細なスケジュールは未定だが、工期は3期に分かれ、1期に延べ約5万3000m²の病院施設を整備し、2、3期に大学院や看護学部、立体駐車場、陽子線治療施設などを建設する予定。

新病院は「大学附属病院として高度急性期を中心に高度・先進的な医療サービスを推進するとともに、地域医療機関と連携を図り、地域医療の質の向上に取り組む」、「大学院を併設して国内外から研究者を迎え、先端的な臨床研究を推進、その成果を社会に還元し、健康の増進・福祉の向上を図る」、「最新の知見およびスキルを身に付けた医師を地域の医療機関に派遣するとともに、地域医

療を支える人材育成に取り組む」、「環境に調和し、災害に強い病院づくりに取り組み、街づくりに協力する」ことなどを特徴とする。数値目標では、平均在院日数10～14日前後、病床稼働率90%超、紹介率・逆紹介率70%としている。

県では、大学病院の整備は医師の確保や派遣、県内の医療機能充実など医療提供体制に大きな効果があると考えており、一日も早い開設に向け調整を続ける。

また、越谷病院も当初計画の21年7月開設を調整中へと変更。同病院は、第6次埼玉県地域保健医療計画における病床整備で一般病床200床の増床が認められ、越谷市袋山560の既存病院敷地内(約2万2000m²)西側に新病棟を建設し増床に対応する予定で、新病棟は増床分の一般200床にメンタルクリニック50床を加えた250床の設置を計画していた。だが、コロナ禍の影響などで工事に遅れが生じているもよう。

順天堂は、医学部附属6病院で計3443床を有する国内最大規模の強固なネットワークを形成しており、さいたま市の新病院は全国7施設目の附属病院となる。また、22年4月には千葉県浦安市に同大学5キャンパス目となる「浦安日の出キャンパス」を開設する計画で、現在整備を進めている。

哺育会、川越市の笠幡病院増床計画中止、コロナ禍の経営環境変化踏まえ

(医) 社団哺育会(東京都台東区今戸2-26-15)は、埼玉県川越市の「笠幡病院」で計画していた15床の増床を中止する。増床は第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画で採択されていたが、新型コロナウイルス禍の影響で経営環境が変化していることを踏まえ判断した。また、埼玉県

内でのコロナ禍による増床計画中止は、越谷市の「(仮称)埼玉越谷病院」に次ぐ2例目となった。

当初計画では、既存病院の駐車場部分に緩和ケア棟を建設し、10室・15床の増床を行う予定で12月末の開設を見込んでいた。増床に向けて準備を進めていたものの、コロナ禍の影響により外来患者数や入院患者数が減少するなど経営環境が変化していることなどを踏まえ、今回、病院側から計画中止を届け出た。

同病院が属する埼玉県内第二次保健医療圏内の川越・比企医療圏では、緩和ケア病床を有する病院が2施設しかなく、供給量が不足していることなどから増床を計画していた。今回の計画中止に伴い、同医療圏の今後の整備病床数は当初の157床から、142床へと減少する見通し。

同病院は内科、神経内科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科、一般歯科・歯科口腔外科・小児歯科を診療し、病床数は療養型136床を有している。

増床計画の中止は(仮称)埼玉越谷病院に次ぐ2例目。同病院は、地域包括ケア病床31床の増床を予定し、笠幡病院と同様に第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画で採択されていたが、工事費の関係やコロナ禍による収益の悪化などで採算性が合わず断念した。

東京都、20年11月に福寿会病院新設を審査、176床で22年7月完成

東京都では、2020年8月、10月、11月に医療関係施設等整備費補助対象事業者審査委員会を行い、計6件の審査を終えた。また、20年12月の審査委員会で、都内示前の案件4件を審査した。以下は、【補助事業名(開催月)】▽事業者名(所在地)＝補助対象施設(病床数、設置場所、敷地面積

／所有区分、建物規模(補助選定面積)、工事種別、着工／竣工、年度別出来高、工事後の病床種類と数(うち補助対象病床数)、整備目的)の順。

【医療施設近代化施設整備費補助事業(8月)】

▽(医) 社団久遠会(東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木722-1)＝高沢病院(120床、西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎字池廻り535-1ほか、4104m²／借地(定期借地権40年)と法人所有、RC造り4階建て延べ5308m²(3141m²)、移転新築、20年11月／22年2月、20年度10％／21年度90％、—(近代化施設整備60床・地域医療構想施設整備53床)、現建物の老朽化があり、移転新築を計画)

▽(医) 財団 織本病院(東京都清瀬市旭が丘1-261)＝織本病院(92床、法人所在地に同じ、6073m²／自己所有および借地(借地権の設定有)、RC造り5階建て延べ5270m²(3378m²)、建て替え、21年1月／22年4月、20年度2％／21年度80％／22年度18％、—(療養・一般計78床)、老朽化に伴う建て替え)

▽(福) 東京有隣会(東京都世田谷区船橋2-15-38)＝有隣病院(251床、法人所在地に同じ、1万4265m²／自己所有、RC・S造り地下1階地上5階建て延べ9057m²(4940m²)、改築、21年2月／24年3月、20年度0％／21年度0％／22年度50％／23年度50％、—(101床)、老朽化・狭隘化に伴う病院と特別養護老人ホームの改築)

【医療施設耐震化緊急対策事業(10月)】

▽(医) 社団薫風会(東京都西東京市南町3-4-10)＝山田病院(326床、法人所在地に同じ、5776m²／借地、サーモコン造り延べ床面積1万883m²(2375m²)、耐震補強、21年3月／22年12月、20年度1％21年度66％／22年度33％、—(—)、1977年竣工の第2号棟は旧耐震設計であり、Is値も最低0.274を示す部分があることから、Is値0.6以上の耐震性を確保するべく耐震補強を行う)

【医療施設近代化施設整備費補助事業(10月)】

▽(医) 社団大和会(東京都足立区西新井5-41-1)＝大内病院(362床、法人所在地に同じ、6076m²／自己所有、S一部RC造り延べ床面積9709m²(7929m²)、改築、21年1月／23年10月、20年度1％／21年度9％／22年度89％／23年度1％、228床(228床)、在宅医療・医療圏・地域との協力・連携を行い治療と予防に力を入れ、地域の病院として役割も十分に担えるように整備する)

【地域医療構想推進事業(施設整備)(11月)】

▽(医) 社団福寿会(東京都足立区梅田7-32-6)＝福寿会病院(176床、足立区梅田7-18-12、1971m²／法人所有、RC造り延べ床面積6231m²(4678m²)、新築、21年3月／22年7月、20年度5％／21年度80％／22年度15％、176床(—)、北区、足立区の在宅患者の入院の受け皿として活用するため)

12月の審査委員会では、医療施設耐震化緊急対策事業として、高野博靖氏の高野病院の耐震補強と(医)社団京浜会新京浜病院の新築建て替え、災害拠点病院等自家発電設備等整備強化事業の国家公務員共済組合連合会東京共済病院の自家発電設備・受水槽の更新、(公社)地域医療振興協会練馬光が丘病院の移転新築を審査し、承認した。

横須賀市、新市立病院建設事業の施工は大成建設・堀建設・宇内建設JVに

横須賀市(神奈川県横須賀市小川町11、Tel.046-822-4000)は、「横須賀市新市立病院建設」を計画しており、総合評価一般競争入札の結果、実施設計・施工事業者を大成建設・堀建設・宇内建設JVに決めた。落札価格は136億6800万円(税別)。

予定価格は168億5000万円だったが、3月12日に開札したところ、入札価格が調査基準価格(146億3437万5000円)を下回ったため、低入札

価格調査を実施して決めた。入札には、同JVのほか、鹿島、戸田建設、清水建設、大林組を代表社とする4JVが参加した。2021年度に実施設計を終え、22～24年度に施工、25年度の開院を目指す。

同事業は、老朽化している市立うわまち病院(417床、診療28科)を移転新築するもので、基本設計は山下設計によって1月に終了している。建設規模はS一部RC造り7階塔屋1階建て延べ3万8400m²。病床数は33床増の450床、診療科目は28科とする予定。

建設場所は横須賀市新明町1-8の敷地1万9876m²(現在は公園)で、南側に新病院、北側に患者用駐車場を整備する。敷地内の歩行者通路と、隣接の新明公園(新明町21)の園路を接続する。

現在地での建て替えではなく移転を判断した理由は、現在地の進入路の幅員が狭く、新たな開発行為の困難が予測されるため。また現在地の一部に崖地があり、神奈川県から「土砂災害特別警戒区域」に指定される可能性が高いことから移転を決めた。

現在のうわまち病院の建物は、本館病棟(RC造り7階建て延べ7312m²)、外来棟(RC造り地下1階地上2階建て延べ4477m²、血管造影棟含む)、管理棟(RC造り2階建て延べ1129m²)、南館(RC造り5階建て延べ6987m²)、放射線治療棟(RC造り平屋建て195m²)のほか、医師公舎第1～第3棟、旧看護婦宿舎第1～第2棟で構成されている。

旧国立横須賀病院の廃止に伴い、移譲を受けた横須賀市が02年7月に開設した。

三重県総合医療C、21年度は情報システム改良やX線治療装置更新検討

2021年度事業として、(地独)三重県立総合医療センター(四日市市大字日永5450-132、Tel.059-345-2321)は、医療情報システムの更新や放射線治療装置の更新検討を行う。また、三重県病院事業庁は、県立志摩病院の管理検査などの屋上防水・外壁改修や県立こころの医療センターの病室の改修を行う。

総合医療センターでは、医療情報システムの更新時期にあっているが、全体の更新ではなく、各部門からの意見を反映して、部分的な改良・更新を進める。また、病院の建築から26年が経過し、施設環境の老朽化や診療スペースなどの不足に対応するため、院内の委員会により、引き続き対策を検討し実施するとしている。放射線治療装置は、20年度に続き、更新の検討を進める。

さらに、老朽化している空調機器などの熱源設備の更新に関して、高効率熱源設備等導入による省エネルギー事業により、民間のノウハウ、技術的能力を活用することで更新費用などを抑えるとともに、省エネルギー化の推進による環境負荷の低減および光熱水費の効果的な節減を図っているが、21年度では、調査や民間からの提言を受けたり、設備の診断などを予定している。病院設備、超音波診断装置など医療機器の整備には、5億6300万円を見込む。

なお、21年度は、第二期中期計画期間の最終年度であり、5年間の計画期間の総括を行うとともに、次期中期目標に基づく新たな5年間の計画期間を見据える年度と位置づけている。

病院事業庁では、病院施設・設備整備事業として、予算2億2800万1000円を計上し、志摩病院(志摩市阿児町)の管理検査棟等屋上防水および外壁改修工事に1億7272万6000円、病棟手術室空調

改修工事設計業務委託に298万8000円を振り分ける。この空調改修工事は22年度に実施する予定である。

ほかに、こころの医療センター(津市城山)の北病棟などの内部の改修工事に5228万7000円を充てる。

県立志摩病院は、指定管理者制度を採っており、指定管理料5億9150万円、短期貸付金6億円など12億582万円を予定している。

病院事業収益は、こころの医療センター33億7593万1000円、一志病院10億1907万8000円、志摩病院9億2004万6000円、病院事業費用は各32億9181万5000円、9億3065万4000円、9億8472万4000円を見込む。

高島市民病院、新・病院改革プランを策定、5年間で10億円を投資

高島市民病院(滋賀県高島市勝野1667、Tel.0740-36-0220)は、2021年度から25年度までを計画期間とする「高島市民病院改革プラン」を策定した。がん診療機能の充実や、地域包括ケア病棟の運営および在宅療養後方支援病院機能の充実を図る方針で、建設改良費は5年間で10億1300万円を見込む。

高島市民病院改革プランは①高島市民病院改革プラン策定の趣旨、②高島市民病院を取り巻く環境、③地域医療構想を踏まえた役割、④経営の効率化、⑤再編・ネットワーク化、⑥経営形態の見直し、⑦プランの点検・評価・公表等の7つの章で構成される。

同病院は12年4月に現在の名称に変更し、同年5月に新病院を開院、13年度には健診センターを稼働している。病床数は206床(うち地域包括ケアは42床)で、診療科目は内科、循環器科、小児科、

外科など18科目。病床利用率(以下19年度実績)は80.5%、救急車受入件数は2035件、手術件数は1037件を記録している。

改革プランでは多くの診療科を有する総合病院の利点を生かし、専門的な急性期医療を提供するため、救急・災害時医療、周産期・小児医療、へき地医療、がん診療機能の充実、地域医療支援病院としての取り組みの5つの役割を引き続き担う。特に、がん診療機能の充実では、隣接する大津圏域のがん診療拠点病院である大津赤十字病院とのグループ指定を受け、地域がん診療病院として、高度がん治療の診療連携を強化し、質の高いがん診療を提供する。

地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割としては、地域包括ケア病棟の運営や在宅療養後方支援病院機能の充実を行うほか、介護老人保健施設「陽光の里」との事業統合を図る。そのほか、事業規模・事業形態の見直しに関しては、23年度に地域医療構想に示されている必要病床数との比較検討を行う。

CTやMRIなどの大型医療機器は、初期費用だけでなく、保守費用も高額になることから、耐用年数を考慮した期間の総費用を比較し、プロポーザル方式による購入を進める。なお、建設改良費は5年間で10億1300万円を想定し、内訳は21年度が2億2500万円、22年度は1億9600万円、23年度は1億8700万円、24年度は2億1700万円、25年度は1億8800万円を見込む。

大阪医療センター、建替整備工事は計画見直しへ、22年度に設計委託

国立病院機構大阪医療センター(大阪市中央区法円坂2-1-14、Tel.06-6942-1331)は、敷地内の駐車場用地などを活用し、新病棟の建設を計画し

ている。当初は2021年1月に着工する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、国立病院機構本部の資金繰りが悪化。4月1日に松村泰志氏が新病院長に就任したこともあり、21年度は計画の見直しを図る方針だ。

新病棟のコンセプトは、同病院の基本理念・基本方針に基づいて、「同病院が展開する高度急性期医療を効率的・機能的に運営できる設計であること」「患者の療養環境、職員の勤務環境を向上させる病院であること」「将来の病院機能確保のために拡張性、可変性、持続性、経済性に配慮した設計であること」を掲げている。

計画によると、敷地内の駐車場用地などを活用して、新病棟を建設する。規模はS造り8階建て延べ約3万 m^2 。フロア構成の詳細は明らかにしていないが、救急外来、コンビニエンスストア、食堂、リネン、中材、ICUなどを導入し、3階に手術室を設けるほか、4～8階は病棟となる。病床数は550床を想定している。診療科目数は増減なし。

新病棟の建設とともに、既存の建物の改修工事(改修延べ床面積は約2000 m^2)、既存の建物の耐震改修工事(改修延べ床面積は約1万3500 m^2)、既存の建物の解体工事(RC造りほか2棟、解体延べ床面積は約3500 m^2)、外構工事を行う。基本・実施設計および工事監理は㈱安井建築設計事務所が担当。

当初の計画では、全体工期は21年1月から24年度までで、新病棟は21年1月に着工し、23年2月の完成を予定していた。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で、国立病院機構本部の資金繰りが悪化。4月1日に松村泰志氏が新病院長に就任したこともあり、計画の見直しを行う。21年度は病院内で診療科目や治療分野の議論を進め、22年度に改めて設計業務を委託する方向で検討しているという。

伊丹市、21年度は新統合病院の実施設計行う、施工者決め22年度着工

伊丹市(兵庫県伊丹市千僧1-1、Tel.072-767-1029＝地域医療体制整備推進班)は、市立伊丹病院と近畿中央病院の新統合病院「(仮称)伊丹市立伊丹総合医療センター」と「(仮称)公立学校共済組合からだところの健康センター」の基本設計を公表した。病院と健康センターの規模は延べ5万6400 m^2 で、病院は602床とする。2021年度は続けて実施設計を行い、施工者を選定し、22年度の着工を予定。25年9月末の新統合病院開院、26年末の敷地全体グランドオープンを目指す。

新統合病院の建設地は、現在の市立伊丹病院(伊丹市昆陽池1-100)の敷地2万9559 m^2 を活用し、既存建物の撤去後に整備する。

基本設計によると、建物は、総延べ約6万2400 m^2 を想定。病院と健康センターが入る建物は延べ5万6400 m^2 で、西棟(地下1階地上8階建て)、連絡棟(3階建て)、東棟(4階建て)で構成。また、立体駐車場(3層延べ3000 m^2)、職員宿舍・保育所棟(7階建て延べ3000 m^2)を建設する。

病院と健康センターのフロア構成は、地下1階に供給部門を集約し、薬剤、栄養管理、霊解剖、SPD、廃棄、機械、地上1階に総合受付・待合・会計・相談、救急、放射線治療、内視鏡・放射線診断、2階に外来、検査、管理、メンタルヘルスケア、レストラン、3階に手術、集中治療、血液、管理、4階に病棟、リハビリ、屋外庭園、機械、5～7階に病棟、8階に機械、屋上にヘリポートを配置する。

手術室は、ロボット支援手術やハイブリッド手術など高度で低侵襲な手術に対応する。分かりやすいワンフロア外来とし、病棟は安全性を高めるウイング型病棟で一般病床の個室割合を高くする。加えて、施設全体で感染制御計画を施す。

病床数は602床を想定。内訳は、集中治療病

床(救急センター)20床(E-ICU・CCU4床、E-HCU16床)、集中治療病床34床(G-ICU・CCU4床、G-HCU12床、SCU3床、MFICU3床、NICU6床、GCU6床)、緩和ケア病床20床、その他一般病床528床となる。

工事業費は約309億円を見込む。内訳は、西棟218億円、東棟36億円、連絡棟10億円、職員宿舎・保育所棟9億円、立体駐車場棟4億円、外構3億円、解体29億円(既存病院、松風園、桃寿園など)。

設計業務(基本・実施)は久米・浦野設計共同体が担当している。

このほか、基本方針によると、診療科は2病院の診療科を継承しつつ、不足している診療機能が提供できるよう、今後も開院までの間に新診療科の設置を含めた議論を続ける。また、5疾病、4事業、人工透析センターなど高度で集学的治療の提供が必要な専門医療の診療科についてはセンター化を推進する方向で議論していく。

健康センターでは、人間ドック(1日ドックなど)、各種健診(一般、がん、企業、特定、生活習慣)、民間宿泊施設と連携したホテルドックなどを提供するほか、メンタルヘルスケア部門では、こころの健康相談やストレスチェック、職場復帰支援などを行う。

全体の概算事業費は約409億円を見込む。内訳は、設計・監理費約13億円、建物移転補償費など約15億円、工事費約309億円、医療機器整備費約72億円(電子カルテ含む)。

なお、新統合病院の費用は伊丹市が負担し、健康センターは公立学校共済組合が負担するとしている。

併せて、新統合病院の建設に向け先行して、「21年度市立伊丹病院職員宿舎解体他工事」を制限付き一般競争入札で公告した。参加申請書は4月9日までで、21年5月11日の入札および開札を行う。

予定価格は2億5000万円(税別)で、工期は22年3月31日までを見込む。

工事概要は、職員宿舎解体工事(アスベスト除去含む)一式、仮設保育所整備工事一式、医局棟3階改修工事一式看護実習室整備工事一式、病院利用者駐輪場整備工事一式仮設RI(放射性同位元素)排水処理槽整備工事一式。

広島市民病院機構、安佐市民病院北館改修は戸田建設、工期11月末まで

(独)広島市民病院機構(広島市中区基町7-33、Tel.082-569-7700)は、安佐市民病院北館改修その他工事を一般競争入札した結果、戸田建設に決定した。落札価格は21億8800万円(税別)で、工期は2022年11月30日までを見込む。

安佐市民病院は、22年春の開院を目指し、新病院「北部医療センター安佐市民病院」(安佐北区亀山南1、病床数は434床)を建設中で、これに伴い、現在の安佐市民病院(安佐北区可部南2)は新病院開院後に北館を改修して活用する。日常的に高齢者などの地域住民が受診できる病院などを整備するもの。具体的には、安佐医師会病院(総合内科と102床)とその併設施設として、安佐准看護学院、可部夜間急病センター、広島市北部在宅医療・介護連携支援センター、地域開放スペースを導入する。22年度中の開設を予定。

工事概要は、敷地面積9854m²の建物延べ1万1176m²の改修で、建築(改修)工事、電気設備工事、空気調和設備工事、給排水衛生設備工事、外構工事、解体撤去工事の各一式となる。

徳島県鳴門病院、21～24年度31億円投資、電カルやMRIなど更新

地方独立行政法人徳島県鳴門病院（徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32、Tel.088-683-0011）は、徳島県の認可を受け、先ごろ、2021～24年度を計画期間とする「第3期中期計画」を策定した。施設、設備および医療機器などの整備では、4年間で31億5700万円を投資する方針で、電子カルテシステムやMRI装置の更新などを行う。

第3期中期計画では、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置や、業務運営の改善および効率化に関する目標を達成するためとるべき措置などについて詳述している。

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置では、救急医療の強化に関して、地域消防との連携の深化、ヘリポートの整備検討や救急専用病床の確保などの施設整備を推進し、県北部の「最重要な救急医療施設」として感染症にも対応可能な「(仮称)徳島県鳴門病院救急総合診療センター」の整備を図る。

がん医療の高度化では、高精度リニアックやPET-CTなどの高度医療機器の強みを生かすとともに、手術から化学療法、放射線治療、緩和ケアまで、がん診療連携拠点病院と連携した質の高いフルセットの医療を提供。年間外来化学療法延べ件数は24年度に1650件、年間がん入院患者延べ数は同1万2900人という目標を掲げている。

地域包括ケアの推進では地域と連携しながら、在宅や介護施設で療養している患者の受け入れおよび在宅復帰支援などに対応するため、地域包括ケア病棟を整備する。目標値としては、年間紹介率が24年度に78.0%、年間逆紹介率は同110.0%を設定。なお、施設、設備および医療機器などの

整備については、4年間で31億5700万円を投資する計画で、MRI装置や電子カルテシステムの更新に充てる。

くらて病院、コロナ禍の影響で移転新病院の工事遅れ、開院が10月に

(地独)くらて病院（福岡県鞍手郡鞍手町大字中山2425-9、Tel.0949-42-1231）は、移転新築を進めている新病院に関して、コロナ禍の影響で工事が遅れており、開院時期が当初予定していた今夏から10月ごろにずれ込む見通しだ。

新病院の計画地は鞍手郡鞍手町大字小牧2226ほか。敷地面積約2万1200m²に、RC造り5階建て延べ1万6719m²で建設し、診療科目は新設する脳神経外科と麻酔科を加えた24科目で、病床数は222床を備える。設計は榎山下設計、施工は榎奥村組が担当している。

当初の新病院の整備スケジュールでは、21年3月に新病院が竣工し、今夏に開院する予定だった。しかし、コロナ禍の影響で、打ち合わせなどが思うように進まず、工事に遅れが生じているという。竣工時期は、当初の3月から1カ月以上遅れる見込み。今夏に予定していた開院については、10月ごろにずれ込む見通しだ。

西都市、西都児湯医療C移転を建設地から再検討する方針、コロナ禍が影響

西都市（宮崎県西都市聖陵町2-1、Tel.0983-43-1111）は、老朽化などに伴い計画を進めてきた「(地独)西都児湯医療センター」の移転について、白紙に戻して建設地から再検討していく方針であることがわかった。コロナ禍による病院の経営悪

化などが理由で、経営改善などを最優先に取り組んだうえで、できるだけ速やかに新病院計画の再開を目指す。

西都市は以前から設備の老朽化や敷地が狭隘であることなどを理由に、「西都児湯医療センター」の移転新築計画を進めてきており、17年3月に基本構想を策定。その後、基本計画策定に向けて、医療センター側と市で協議を重ね、移転先を東九州自動車道に近い「赤池地区」に決定。準備を進めてきたが、19年11月の会議で西都市の押川修一郎前市長が、新医療センターの移転先として、市街地につくる意向を強調し、移転候補地として近隣にある「ボウリング場とその周辺」を挙げた。このため西都市は、外部に委託して新移転候補地の土地や建物の不動産鑑定評価を19年11月ごろから20年まで実施し、そのうえで、西都市は現在新移転候補地の「ボウリング場とその周辺」へと修正した基本計画案の策定準備を進めてきた。

しかし、21年1月に行われた西都市の市長選で橋田和実氏が当選し、「(地独)西都児湯医療センター」の移転については、いったん白紙に戻して建設地から再検討していく方針となった。コロナ禍で悪化した病院の経営の改善や20年6月に3人が退職したことに伴う医師の確保に最優先に取り組んだうえで、できるだけ速やかに計画を再開したいという。ちなみに、医師については整形外科と消化器外科の計2人が4月から新たに常勤しているが、残りの脳神経外科の医師の確保に関して見通しが立っていないという。

なお、西都児湯医療センターは、脳神経外科、呼吸器内科、循環器内科、内科、外科麻酔科、放射線科、リハビリテーション科の7科目の診療機能を持ち、病床数は91床(稼働中69床)を有している。

沖縄県、2病院統合新病院は農業大跡、34科・400床で基本計画策定へ

沖縄県(那覇市泉崎1-2-2、Tel.098-866-2111＝保健医療部医療政策課医療班)は、現在進めている県立北部病院と北部地区医師会病院を統合した新病院の建設予定地として、沖縄県立農業大学校移転後の敷地(名護市大北1、敷地面積約10万m²)を選定した。また、病院名についても「公立沖縄北部医療センター」に決定した。

沖縄県では県立北部病院と北部地区医師会を統合した新病院の計画を進めており、20年7月に沖縄県の北部12市町村と「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意案」を調印。同年9月には沖縄県と北部地区医師会、琉球大学病院の関係者で構成された「公立北部医療センター整備協議会」を発足し、21年1月末にはパブリックコメントを実施するために、新病院の基本構想(素案)を公表していた。

建設地や新病院名については、3月25日に開催された第3回公立北部医療センター整備協議会で決定した。建設予定地は、以前から候補地として挙げていた①沖縄県立農業大学校移転後の敷地(名護市大北1)、②名護商業高校跡地(名護市大西4)、③名護市の市有地である名桜大学周辺用地(名護市為又および同市中山)という3つの中から検討し、沖縄県立農業大学校移転後の敷地(名護市大北1)を選定した。同時に、病院名も「公立沖縄北部医療センター」に決定した。

今後については、21年度中に基本計画を策定する。すでに策定支援に関する優先交渉権者は選定されており、4月上旬の契約締結後に事業者名を公表する見込みだ。具体的には基本計画骨子を6月、素案を11月に確定し、22年2月に基本計画を策定する予定だ。

そして22年度からは基本設計に着手し、24年

度の着工、26年度からの開院を目指す。

なお、新病院の詳細は、1月末に公表された基本構想(素案)によれば以下のとおりである。

医療機能としては、県立北部病院と北部地区医師会病院の既存の診療科目に「腫瘍内科」と「放射線治療科」を新設し、計34科目を設置する。病床数に関しては、高度急性期・急性期病床400床程度(ICU・CCU 10床程度、HCU 12床程度、NICU 6床、GCU 6床程度、地域救命救急センター10床程度を含む)、感染症病床2床程度、回復期病床48床程度の計450床程度を設ける。

また施設内においては、地域がん診療連携拠点病院として、リニアックなどの放射線治療に関する機器や外来化学療法室、病理診断室など、専門的ながん医療を提供するための治療機器や治療室などを設置する。さらに、健康管理センターも整備し、がんをはじめとした疾患の早期発見、早期治療、生活習慣病対策のための健診結果から保健指導などを行い、北部地区医師会病院が担っていた各種健診、検診や人間ドックなどを受けられるようにする。加えて、ドクターヘリが離発着可能なヘリポートや院内保育所なども設置する。

さらに医師などの確保に関しては、公立北部医療センター内に「(仮称)琉球大学病院地域医療教育センター」を設置。必要な診療科の教授、准教授などの指導医やスタッフを配置し、専攻医、研修医および医学生の指導を行うとともに、診療にも携わることで、医師が定着しやすい職場環境を整備していく。

ニュースフラッシュ／公告

■旭川医科大学、トリアージ施設の発注を計画

旭川医科大学病院(北海道旭川市緑が丘東2条1-1-1、Tel.0166-65-2111)は、トリアージ棟新営工事の発注を予定している。公告・入札時期は2021年度第1四半期を予定しており、発注規模は7000万円以上1億円未満としている。工期は約4カ月を見込む。

■青森県、みちのく記念病院介護医療院など補助

青森県は、21年度社会福祉施設等施設整備国庫補助協議施設を公表した。以下は、▽設置主体の名称＝施設名称(施設種別、整備市町、定員、工事区分)の順。

▽(市町村の選定による)＝(認知症高齢者グループホーム、青森市、一、創設)▽(市町村の選定による)＝(認知症高齢者グループホーム、弘前市、一、創設)▽(市町村の選定による)＝(小規模多機能型居宅介護、弘前市、一、創設)▽(市町村の選定による)＝(認知症高齢者グループホーム、八戸市、一、創設)▽(市町村の選定による)＝(看多機、黒石市、一、創設)▽(市町村の選定による)＝(小多機、横浜町、一、創設)▽(医)杏林会＝みちのく記念病院(介護医療院、八戸市、110人、創設)▽青森市＝筒井放課後児童会(放課後児童クラブ、青森市、198人、創設)▽中泊町＝海の子クラブ(放課後児童クラブ、中泊町、40人、改築)▽黒石市＝上十川地区りんごクラブ(放課後児童クラブ、黒石市、50人、改築)▽(福)厚生会＝幸樹園(児童養護施設、鶴田町、42人、改築)▽(福)極光の会

＝玄輝門住宅A(障害福祉サービス事業所〈共同生活援助〉、藤崎町、6人、創設)▽(福)阿闍羅会＝ワークキャンパス大鰐(障害福祉サービス事業所〈生活介護／就労継続支援B型〉、大鰐町、一、改築)

■青森社会福祉振興団、仙台市に特養80床新設

(福)青森社会福祉振興団(青森県むつ市十二林11-13、Tel.0175-23-1600)は、仙台市太白区に80床の特別養護老人ホーム「(仮称)西多賀みちのく荘」の新設を計画しており、22年4月の開業を目指している。3月18日に新築工事の制限付一般競争入札を行い、阿部建設・阿部和工務店JVが14億3800万円(税別)で落札した。場所は太白区鉤取本町2-213-29の敷地7061m²で、施設の規模は木造2階建て延べ5815m²となる。定員は特養80床。そのほか地域交流ホールや図書館、美術ギャラリーなどを併設し、地域の交流拠点としても訴求する。施設には介護ロボットなども導入し、IoT化を進めるほか、隣接する仙台西多賀病院とも連携していく。

■栃木県立岡本台病院、人事システムプロポ公告

栃木県立岡本台病院(宇都宮市下岡本町2162、Tel.028-673-2298＝総務課)は、病院人事給与システム導入業務の公募型プロポーザル実施を公告した。質問の受付期限は4月13日、参加表明書の提出期限は4月26日、技術提案書の提出期限は5月10日で、5月19日にプレゼンテーションとプロポーザル審査を実施し、5月25日に審査結果を通知する。提案上限額は6281万330円(税込み)で、22～26年度まで5年間のランニング経費についても記載することとしている。

業務は、岡本台病院において人事情報の管理事務、給与支給事務などを行うためのシステムの設計および開発、既存データの移行作業、マニユア

ルなどの作成ならびに担当者研修で構成し、履行期限は契約締結日～22年3月31日。導入スケジュールは、6～7月に設計、7月中旬～10月に製造・テスト、10～12月に環境構築、12月～22年2月にデータ移行、22年3月に動作を検証し、同年4月から本格稼働を開始する。

■伊勢崎市、伊勢崎福島病院跡地に複合施設

伊勢崎市(群馬県伊勢崎市今泉町2-410、Tel.0270-24-5111)は、伊勢崎福島病院跡地に(仮称)新保健センター・子育て世代包括支援センターを整備する。整備については有識者会議を経て、順調に進めば21年度内に基本設計を発注する。

建設場所は伊勢崎駅周辺第一土地区画整理事業の43-1街区、伊勢崎福島病院の跡地約3800m²で、同病院の移転後、市が敷地を取得していた。

新保健センターは既存の「健康管理センター」「赤堀保健福祉センター」「あずま保健センター」「境保健センター」の一部を集約する方針。

■済生会栗橋病院、加須病院の3調達を公告

埼玉県済生会栗橋病院(久喜市小右衛門714-6、Tel.0480-53-0573＝用度管財課)は、埼玉県済生会加須病院(304床、加須市上高柳1680)に納入する(1)ナースコールシステム調達、(2)入退室管理システムの調達、(3)MRIシールド工事1式の各一般競争入札を公告した。いずれも4月5日に質疑書の提出を締め切っており、参加資格確認申請書の提出期限は4月9日、入札／開札は4月13日となっている。納期は、(1)と(2)が11月30日、(3)は22年5月31日。

■匝瑳市の野栄福祉会、児童福祉施設増築を公告

(福)野栄福祉会(千葉県匝瑳市川辺7970-2しおさいホーム、Tel.0479-67-1151)は、しおさいホーム増築工事の一般競争入札を公告した。説

明書の配布期限は4月15日、参加資格確認資料の提出期限は4月19日で、5月28日に入札／開札となる。同ホームは児童福祉施設(障害者支援施設)で、増築規模はS造り平屋建て1104m²。工期は6月11日～22年1月31日。

■アンビスHD、柏市で有料老人ホーム着工へ

(株)アンビスホールディングス(東京都中央区京橋1-1-1、Tel.03-6262-5105)は、千葉県柏市中央1丁目に有料老人ホーム「(仮称)柏中央1丁目介護施設」の新築を計画しており、大和ハウス工業の施工により近く着工する予定である。

施設規模は3階建て延べ約1994m²。定員は50人程度を予定している。大和ハウス工業で近く着工し、9月の完成を見込んでいる。

■国立がん研究C、アジア抗がん剤市場調査公告

国立がん研究センター(東京都中央区築地5-1-1、Tel.03-3547-5201(内)2163=財務経理課調達企画室契約係)は、アジア各国の抗がん剤市場調査、製薬企業のニーズ分析、ならびにコミュニケーション戦略立案に関する業務の公募型企画競争を公告した。企画競争説明書などの交付期限および参加必要書類の提出期限は4月22日で、4月27日に競争執行・企画聴取を行う。契約期間は契約日～7月31日。

■東京都、20年8～10月に198件補助承認

20年8月、9月、10月に医療関係施設等整備費補助対象事業者審査委員会が開催され、主な都内示前報告案件(補助金1億円未満)で、8月に98件、9月に55件、10月に45件を承認した。8月分のうち86件はオンライン医療相談・診療等環境整備補助事業で、9月の55件はすべて新型コロナウイルス感染症検体検査機器設備整備費補助事業。

都内示前報告案件(補助金1億円未満)は以下

のとおり。【開催月】〔事業名〕▽補助対象事業者と施設名(整備種別)の順で、オンライン医療相談・診療等環境整備補助事業の整備種別は、すべて「オンライン診療等のための情報通信機器(パソコン等)」であるため整備種別を省いた。ICT基盤整備事業の整備種別は、すべて「地域医療連携を推進するための電子カルテシステムの導入」であるため整備種別を省いた。また、①はリアルタイムPCR装置、②は等温遺伝子増幅装置、③は全自動化学発光酵素免疫測定装置、④は次世代シーケンサー、⑤はスプリンクラーを表す。補助事業対象者名から、社会医療法人の(社医)、医療法人の(医)、学校法人の(学)、社会福祉法人の(福)を省いた。

【8月】

〔新型コロナウイルス感染症検体検査機器設備整備費補助事業〕▽(株)エスアールエル八王子第一ラボラトリー(①)▽(一財)東京保健会病態生理研究所(①)▽(株)早川予防衛生研究所(①)▽プリベントサイエンス(株)(①)▽(株)Human Investor東京衛生研究所(②/④)(①)▽(株)町田予防衛生研究所(①)▽(株)エムビックらいふ環境分析センター(①)▽(一社)免疫診断研究所(①)▽(株)マイクロスカイラボ(①)▽(株)プロップジーン・プロップジーン衛生検査所(①/④)▽ジェネシスヘルスケア(株)(①)▽昭和大学新型コロナウイルス対応PCRセンター(①)

〔オンライン医療相談・診療等環境整備補助事業〕▽聖母会聖母病院、▽浅草寺病院、▽社団厚潤会花輪病院、▽社団敬智会梶原病院、▽桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院、▽社団哺育会浅草病院、▽志匠会品川志匠会病院、▽社団瑞雲会高田馬場病院、▽社団敬悠会副都心病院、▽社団三医会鶴川リハビリテーション病院、▽社団正志会南町田病院、▽さくら会世田谷中央病院、▽社団恵仁会府中恵仁会病院、▽社団緑真会世田谷北部病院、

▽社団東山会調布東山病院、▽社団大日会小金井太陽病院、▽社団山斗会山中病院、▽社団内田こどもクリニック、▽社団顕明会西荻北眼科、▽社団健生会立川相互ふれあいクリニック、▽社団弘仁会片倉クリニック、▽社団リボン会小湊小児科、▽社団川添記念会四谷川添産婦人科、▽社団大賀会木暮クリニック、▽社団育心会糀谷こどもクリニック、▽社団四谷森田=もりた眼科小児科、▽社団建寿会潮耳鼻咽喉科クリニック、▽社団順清会日本橋むらやまクリニック、▽社団友志会南和友クリニック、▽社団瑞翔会四谷医院▽社団豊希会若松河田耳鼻咽喉科クリニック、▽社団優英会赤羽小児科クリニック、▽社団VERITAS入倉クリニック、▽社団Intuition青山メンタルクリニック、▽社団はしだ眼科クリニック、▽社団健則会府中駅北口クリニック、▽社団ちぎら医院、▽社団こどもハート大崎こどもハート・アレルギークリニック、▽社団高志会よつぎホームクリニック、▽(一社)日本うつ病センター六番町メンタルクリニック、▽社団こどもハート城南こどもハート・アレルギークリニック、▽社団幸隆会グリーンヒルクリニック、▽社団プラタナス用賀アーバンクリニック、▽社団恵仁会調布恵仁会クリニック、▽社団森川久が原こどもクリニック、▽社団永健会内山クリニック、▽社団三浦医院、▽社団行基会川村総合診療院、▽中島医院さくら小児科・内科クリニック、▽社団こどもハート、▽社団富久こどもハート・アレルギークリニック、▽社団睦和会下奥多摩医院、▽社団たまこく多摩国分寺こころのクリニック、▽社団慶潤会新都心十二社クリニック、▽社団慶潤会KDDIビルクリニック、▽社団山斗会山中整形外科内科クリニック、▽社団モンゲンロート有明こどもクリニック田町芝浦院、▽社団モンゲンロート有明こどもクリニック有明院、▽社団モンゲンロート有明こどもクリニック勝どき院、▽社団モンゲンロート有明こども

クリニック豊洲院、▽金城謙太郎金城医院、▽伊原玄英町田駅前内科クリニック、▽坂本智子神楽坂内科・脳神経内科クリニック、▽平野直樹晴海3丁目クリニック、▽丸山真理子EASE女性のクリニック、▽山元正之永山内科クリニック、▽鬼澤重光しげみつファミリークリニック、▽石橋一慶西大井内科、▽小高哲郎あきるの杜きずなクリニック、▽徳永美佳眼科西大井クリニック▽氏川眞理氏川眼科医院、▽二神綾子りくぎえん皮膚科▽藤原直之藤原クリニック、▽伊藤英介伊藤皮膚科クリニック、▽尾添明之はすね駅西口内科、▽田中館基親たなかだて内科・呼吸器内科クリニック、▽渡邊重夫渡辺眼科医院、▽川俣博文日本橋かわまた内科クリニック、▽田中健一郎多摩かぜまち内科クリニック、▽伊藤学代々木メンタルクリニック、▽杉原崇大ホームクリニック東京、▽松原健朗自由が丘内科クリニック、▽露寄仁志プライムクリニック三鷹、▽三井俊賢さくらキッズクリニック、▽小川英風東京港診療所

【9月】

〔新型コロナウイルス感染症検体検査機器設備整備費補助事業〕▽杏林学園杏林大学医学部付属病院(①/③)▽順天堂・順天堂大学医学部付属順天堂医院(④)▽公立学校共済組合関東中央病院(①)▽順天堂・順天堂大学医学部付属練馬病院(①)▽慈恵大学・東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(①)▽伯鳳会東京曳舟病院(①)▽社団東京巨樹の会東京品川病院(①)▽東海大学・東海大学医学部付属八王子病院(①/②)▽聖路加国際大学聖路加国際病院(①)▽北里研究所北里大学北里研究所病院(①)▽立正佼成会立正佼成会附属佼成病院(②)▽財団荻窪病院(①/②)▽徳洲会東西徳洲会病院(①)▽帝京大学・帝京大学医学部付属病院(①)▽東京女子医科大学・東京女子医科大学東医療センター(①)▽財団健貢会総合東京病院(①)▽社団直和会平成立石病院(①)▽(公財)

日産厚生会玉川病院(①)▽東京女子医科大学・東京女子医科大学病院(①)▽(公社)地域医療振興協会練馬光が丘病院(①)▽同愛記念病院財団同愛記念病院(①)▽日本医科大学・日本医科大学多摩永山病院(②)▽東京医科大学・東京医科大学八王子医療センター(①)▽永生会南多摩病院(①/②)▽(公財)ライフ・エクステンション研究所永寿総合病院(①)▽国際医療福祉大学・国際医療福祉大学三田病院(①/②/③)▽社団正志会花と森の東京病院(①)▽社団明芳会イムス東京葛飾総合病院(②)▽(公財)結核予防会複十字病院(①)▽慈恵大学・東京慈恵会医科大学附属第三病院(①)▽日本医科大学・日本医科大学付属病院(①)▽日本大学・日本大学医学部附属板橋病院(①)▽社団久福会関野病院(①)▽東邦大学・東邦大学医療センター大橋病院(①)▽慶応義塾・慶応義塾大学病院(①)▽社団正志会南町田病院(①)▽河北医療財団河北総合病院(①)▽社団明芳会板橋中央病院(①)▽国家公務員共済組合連合会立川病院(①)▽慈恵大学・東京慈恵医科大学附属病院(①)▽あそか会あそか病院(①)▽日本郵政(株)東京通信病院(①)▽東京医科大学・東京医科大学病院(②)▽仁生会江戸川病院(①/③)▽社団洪水会東京洪誠病院(①)▽東日本電信電話(株)NTT東日本関東病院(②)▽東邦大学・東邦大学医療センター大森病院(①/③)▽国家公務員共済組合連合会三宿病院(①/③)▽日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院(②)▽(公財)東京都保健医療公社東部地域病院(①)▽(公財)東京都保健医療公社多摩南部地域病院(①)▽(公財)東京都保健医療公社大久保病院(①/③)▽(公財)東京都保健医療公社多摩北部医療センター(①)▽(公財)東京都保健医療公社荏原病院(②)▽(公財)東京都保健医療公社豊島病院(①)

【10月】

〔災害拠点病院災害時拠点強靱化緊急促進事業〕

▽杏林学園・杏林大学医学部付属病院(受水槽/揚水ポンプ/給水設備)

〔有床診療所等スプリングラウ等施設整備事業〕
▽社団久福会関野病院(⑤)▽社団修世会木場(⑤)
▽財団圭友会小原病院(⑤)▽社団翔生会楠医院(⑤)

〔NBC災害・テロ対策設備費補助事業〕▽東邦大学・東邦大学医療センター大森病院(化学物質中毒解析機器〈クロマトグラフ〉)▽帝京大学・帝京大学医学部附属病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽東京女子医科大学・東京女子医科大学東医療センター(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽東京医科大学・東京医科大学八王子医療センター(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽杏林学園・杏林大学医学部付属病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備/化学物質中毒解析機器〈クロマトグラフ〉/携帯型生物剤検知装置または携帯型生物剤捕集器)▽日本医科大学・日本医科大学多摩永山病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽恩賜財団済生会支部東京都済生会東京都済生会中央病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/防護用品/防毒マスク等の防護用品/除染設備/携帯型生物剤検知装置/携帯型生物剤捕集器)▽東京女子医科大学・東京女子医科大学病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器)▽伯鳳会東京曳舟病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備/化学物質中毒解析機器)▽順天堂・順天堂大学医学部附属練馬病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽仁生社江戸川病院(除染設備〈除染車〉)▽聖路加国際大学聖路加国際病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽(公財)がん研究会有明病院(除染設備/携帯型生物剤検知装置または

携帯型生物剤捕集器)▽日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/簡易毒劇物検査キット/除染設備)▽国家公務員共済組合連合会立川病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽慈恵大学・東京慈恵会医科大学附属病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器)▽日本医科大学・日本医科大学付属病院(除染設備)▽森山医会森山記念病院(除染設備/携帯型生物剤検知装置または携帯型生物剤捕集器)▽社団苑田会苑田第一病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽東日本電信電話NTT東日本関東病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品)▽昭和大学・昭和大学病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽社団順江会江東病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽立正佼成会立正佼成会附属佼成病院(除染設備)▽阿伎留病院企業団公立阿伎留医療センター(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽(一財)自警会東京警察病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/簡易毒劇物検査セット/除染設備)▽社団成和会西新井病院(化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)▽福生病院企業団=公立福生病院(表面汚染測定器/線量率測定器および線量測定器/化学防護服/防毒マスク等の防護用品/除染設備)

[ICT基盤整備事業]▽社団すずき病院、▽財団城南福祉医療協会大田病院、▽東京保健生活協同組合大泉生協病院、▽東京保健生活協同組合東京健生病院、▽社団和風会多摩リハビリテーション病院、▽社団竹口病院、▽財団謙仁会亀有病院、▽財団立川中央病院、▽社団葵会南八王子病院、▽社団花みずき会保谷厚生病院、▽社団慈誠会慈誠

会記念病院、▽社団正志会荒木記念東京リバーサイド病院、▽社団桐光会調布病院

■東京都、特養6000人・老健2000人整備

東京都(新宿区西新宿2-8-1、Tel.03-5320-4565=計画課計画調整担当)は、高齢者保健福祉計画(21~23年度)を策定した。

特養ホームは、3月1日現在の定員5万743人を30年度末に6万4000人分へと増やす目標で、必要入所定員総数は、21年度5万4223人(うち地域密着型905人)、22年度5万6177人(同934人)、23年度5万7472人(同969人)と見込んでおり、23年度末に約5万7000人分の確保に努める。

老人保健施設は、3月1日現在の定員2万1885人を30年度末に3万人分へと増やす目標で、途中、23年度末までに約2万4000人分の確保を目指す。必要入所定員総数は、21年度2万2696人、22年度2万3171人、23年度2万3542人と見込む。

都では、介護医療院について、23年度末に廃止される介護療養型医療施設からの転換の受け皿として、転換に対する支援を行う。21年3月1日現在の定員数は、介護療養型医療施設が2144人、介護医療院が1548人となっている。

特定施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、有料老人ホームに該当するサービス付き高齢者向け住宅)の状況(3月1日現在)は、介護付き有料老人ホームの定員数が4万8915人となっており、住宅型(特定施設入居者生活介護の指定を受けていない)有料老人ホームの定員数8785人を合わせると5万7700人となり、特養ホームの定員数の5万743人を超えている。

都内の軽費老人ホームA型・B型には、老朽化した施設が多く、その建て替え時にはケアハウスや介護保険施設などへ転換することが必要となる。要介護者に介護保険サービスを提供できるこ

とから、介護専用型特定施設のケアハウス整備を推進する必要があるとしている。

都市型軽費老人ホームは、2400人分の整備目標を掲げ、都心部の区市と連携しながら整備費補助事業による整備を進めており、18区市に85施設、定員1470人分が開設されている。

養護老人ホームの入所待機者数は、ここ数年減少しているが、緊急保護が必要な高齢者や精神疾患を有する高齢者など、措置入所が必要な人は依然として存在している。都内の養護老人ホームの入所者のうち、約5割は要支援または要介護の認定を受けているが、都内の養護老人ホームの大半は、介護保険法上の特定施設入居者生活介護の指定を受けていないため、介護サービス利用の際は、個別に外部の介護事業者を利用することになっている。また、都内の養護老人ホームは32施設で、建築後25年以上経過している施設が多く、老朽化が進んでいるとしている。

介護専用型特定施設の必要利用定員総数は、3月1日現在の定員数6436人(うち地域密着型170人)に対し、21年度6436人(同158人)、22年度6436人(同161人)、23年度6476人(同165人)を見込む。混合型特定施設は、21年3月1日の定員3万7048人に対し、21年度4万778人、22年度4万2262人、23年度4万3474人を見込む。

このほか、有料老人ホーム同様、21年3月1日現在の定員に対する特定施設入居者生活介護の指定を受けていないサ高住は、1万4950戸のうち1万2339戸となっている。

地域密着型サービスの3月1日現在の整備量は、小規模多機能型居宅介護232カ所、看多機53カ所、認知症高齢者グループホーム1万1676人となっており、グループホームの30年度末の整備目標は2万人分である。

■長野市民病院、27億円増築・改修DB委託へ

(地独)長野市民病院(施設管理課、長野市富竹1333-1、Tel.026-295-1199)は、実施設計デザインビルド(DB)方式による増築・改修工事の一般競争入札を公告し、4月8日に設計図書の配布を終えた。参加申請書類など提出期限は4月21日、現地確認会は5月9日で、VE提案書の提出やブレゼンテーションを経て、7月14日に実施設計施工者を決定し、7月30日に契約締結となる。予定価格は26億9655万円(税別)で、業務期間は契約日～24年1月31日。増築棟はRC造り3階建て塔屋付き延べ3957m²、既存棟改修はRC一部SRC造り6階建て延べ6874m²(中央待合ホール含む)。

■一宮市立市民病院、2年間の医事業務を委託へ

一宮市立市民病院(事務局医事課、愛知県一宮市文京2-2-22、Tel.0586-71-1911)は、医事業務委託の公募型プロポーザル実施を公告し、4月6日に現地見学会を終えた。1次審査書類の受付期間は4月12～14日、2次審査書類の受付期間は4月19～21日で、5月上旬に審査結果を通知する。業務の履行期間は10月1日～23年9月30日で、契約上限価格は4億6356万円(税別)。

■岐阜県、医療機能再編支援業務のプロポ開始

岐阜県(岐阜市藪田南2-1-1、Tel.058-272-1860=医療整備課医療企画係)は、医療機能再編支援事業委託業務を委託する公募型プロポーザル手続きを開始した。募集要項の配布期限、質問書の受付期限、参加申込の受付期限は4月19日、企画提案書の受付期限は4月26日で、5月中旬にブレゼンテーションなどを行い、結果を通知する。委託業務期間は契約日～22年3月31日で、予定価格は2383万7000円(税込み)。

■みずほ病院、石川県津幡町で有料ホーム着工へ

(医) 社団瑞穂会みずほ病院(石川県河北郡津幡町字潟端422-1、Tel.076-255-3008)は、病院隣接地に「(仮称)津幡住宅型有料老人ホーム」の新設を計画しており、施工者を松井建設に決めた。施設規模はS造り2階建て延べ約4658m²で、建物は3棟構成、居室数は104室。

当初3棟をまとめて建設する予定だったが、まず1期工事分として2棟(延べ3196m²)を先行して整備することにした。4月に着工し、12月下旬の入居開始を予定する。敷地は約8500m²、居室数は2棟合わせて66室。通所機能(定員30人)を併設し、医務室、相談室、食堂、厨房、浴室、特殊浴場も設ける。設計はアーバンデザイン建築事務所(石川県白山市)。

血液の透析患者や地域の高齢者の入所を受け入れ、みずほ病院(79床)の療養体制の充実を図ることが目的。同病院は、血液透析診療が中心の医療機関。透析患者は、高齢者や障害者が年々増加し、通院困難になったり、食事制限管理が必要なことから、1人暮らしが困難になっている。そこで、安心して生活できる環境を整えるため、同病院が隣接地に老人ホームを新設することにした。

■京都市、第8期プランで特養220人を整備

京都市(京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1、Tel.075-213-5871=介護ケア推進課)は、21～23年度を計画期間とする「第8期京都市民長寿すやかプラン」を策定した。特別養護老人ホームは6883人(21年度)から220人増の7103人に、認知症高齢者グループホームは2532人(21年度)から122人増の2654人に、介護専用型特定施設は2406人(同)から366人増の2772人に増やす計画を立てている。

■薫風会、倉敷市でGH・小多機と有料ホーム

(福) 薫風会(岡山県倉敷市神田2-3-5、Tel.086-444-6521)は、倉敷市に計画中のグループホーム「(仮称)高齢者グループホームしもついで・小規模多機能ホームしもついで」に荒木組の施工で着工した。21年内の完成を目指す。

計画地は倉敷市大畠1-1709で、3階建て延べ約1200m²の規模で建設。グループホーム2ユニットと、小多機を併設する。

このほか、介護付き有料老人ホーム「(仮称)ひがしづか」も計画しており、同じく21年内の完成を見込んでいる。こちらの計画地は倉敷市東塚1-279-6で、介護付き有料老人ホーム22床を設ける予定。

■別府医療C、災害対策整備の設計・監理を公告

国立病院機構別府医療センター(企画課、大分県別府市大字内竈1473、Tel.0977-67-1111)は、「災害対策整備工事実施設計、工事監理業務委託」の一般競争入札を公告した。競争参加資格申請書の提出期限は4月12日で、4月26日に開札を行う。履行期間は設計が契約締結の翌日～9月30日まで、工事監理が10月1日～22年3月31日までを予定している。

業務は、外来診療棟の浸水防止対策、自家発電機用オイルタンクの新設、医療ガス供給設備移設などに関わる実施設計と工事監理を行う。

■豊後大野市、高校跡での福祉施設整備者を公募

豊後大野市(大分県豊後大野市三重町市場1200、Tel.0974-22-1001(内)2447=まちづくり推進課)は公募型プロポーザル方式で、旧緒方工業高校の跡地利用事業者(福祉施設ゾーン)の募集を開始した。質問の受付期限は4月12日で、応募書類の受付期間は4月23～30日までとしている。5月中旬に選定結果を通知する。

同事業では、豊後大野市が旧緒方工業高校の用地(豊後大野市緒方町下自在123-1ほか、敷地面積1万5817m²)を民間事業者へ売却し、福祉施設を整備する。土地の売却価格は6833万3500円で、サ高住や障がい者の就労の場などを配した福祉施設が整備される。今後については5月中旬に選定結果を通知し、7月中旬に選定者へ所有権移転登記や引き渡しを実施する。

■鹿児島市立病院、再整備計画策定提案競技公告

鹿児島市立病院(鹿児島市上荒田町37-1、Tel.099-230-7013=経営管理課企画係)は、病院再整備計画策定支援業務の企画提案競技の実施を公告し、4月6日に参加資格に関する質問の受け付けを締め切った。参加申込の受付期限は4月14日、提案書に関する質問の受付期間は4月20～23日、提案書などの提出期限は5月14日で、5月28日にプレゼンテーション審査を行い、6月7日に選定結果を通知する。委託上限額は1427万5000円(税込み)で、業務期間は契約日～22年3月31日。

15年度の新病院移転以降、鹿児島市立病院は中核医療機関としての役割の明確化と経営基盤の確立に取り組んできたが、患者数の増加に伴い、病床利用率や手術件数の増加、入退院センターや検査室ならびに駐車場の混雑、医療機器や研修等に使用するスペース不足など、様々な課題が生じてきている状況である。そのため、市立病院が将来にわたって公立病院としての役割を果たしながら、持続可能で安定的かつ効率的な病院経営を推進するため、19年度の医療需要調査、20年度の機能整備調査の調査結果を踏まえ、改修・増築の検討を行い、病院再整備の基本的な考え方を「鹿児島市立病院再整備計画」として策定することとしている。

■鹿児島大学、病院トリアージ施設新築を公告

鹿児島大学(鹿児島市郡元1-21-24、Tel.099-285-7217=施設部企画課総務係)は、「鹿児島大学(桜ヶ丘)病院トリアージ施設新営その他工事」の一般競争入札を公告した。競争参加申請書の提出期限は4月13日で、5月13日に開札を行う。工期は12月17日までとしている。業務は、鹿児島大学桜ヶ丘団地(鹿児島市桜ヶ丘8-35-1)で、病院トリアージ施設(軽量S造り平屋建て延べ193m²)および擁壁、渡り廊下(S造り)の新営工事(建築・設備)を行う。

■最近の資料提供招請(3月29日～4月2日)

最近の資料招請の公表は以下のとおり。▽調達機関=品目および数量(調達方法、説明会、資料の提供期限、導入予定時期)の順。▽東日本電信電話(株)関東病院=術野・術場映像機器1式(一、一、5月18日、22年3月30日)▽岐阜大学=X線CT組合せ型陽電子放射断層撮影装置1式(購入、4月15日、5月17日、21年度3月以降)▽国立病院機構金沢医療センター=ナースコールシステム1式(購入、一、4月28日、21年度第4四半期)▽愛媛大学=材料部洗浄システム1式(購入、4月15日、5月17日、11月以降)

■最近の意見招請(3月29日～4月2日)

最近の意見招請の公示は以下のとおり。▽調達機関=品目および数量(調達方法、説明会、意見の提出期限)の順。▽名古屋大学=強度変調放射線治療システム1式(購入、4月12日、5月6日)▽金沢大学=薬剤業務支援システムおよび調剤機器1式(購入、4月9日、5月6日)▽大阪大学=小線源治療装置システム1式(購入、4月7日、5月6日)

入札情報(医療機器・備品・委託業務)

| 納入施設 | 案件名・数量(調達方法) | 説明会 | 入札日 | 開札日 | 納期/期間 |
|-----------------|---|------|------|------|---------------|
| 厚生労働省 | 令和2年医療施設静態調査の調査票等に係る受付・内容審査・データ入力業務等1式(一) | — | 4.12 | 4.16 | 契約日～7.30 |
| | 特定保険医療材料価格調査(材料価格調査)調査票等の配布・回収等1式(一) | — | 5.28 | 5.28 | 22.1.31 |
| 弘前病院 | 病院情報システム1式および6年間のシステム保守委託業務(購入) | — | 5.21 | 5.28 | 22.3.31 |
| 東北大学薬学研究所 | 顕微ブリルアン・ラマン散乱測定装置1式(購入) | — | 5.24 | 6.18 | 11.16 |
| Jうつのみや病院※ | 医薬品単価契約(1277品目)(購入) | — | 5.17 | 5.20 | 7.1～22.6.30 |
| J埼玉メディカルセンター※ | 21年度医薬品単価契約(購入) | 4.22 | 5.7 | 5.12 | 7.1～22.6.30 |
| | 21年度検査試薬等単価契約(購入) | 3.30 | 4.21 | 4.26 | |
| 国立がん研究センター※ | 全ゲノムシーケンス解析単価契約4件(一) | — | 4.16 | 4.19 | 契約日～22.3.31 |
| 東京大学医科学研究所 | ゲノム医療実現のための大規模データ解析システム1式(購入) | — | 5.24 | 6.14 | 9.30 |
| J東京城東病院※ | 内視鏡症例単価払契約(予定使用数量1万3500症例)(一) | — | 5.7 | 5.14 | 8.1～26.7.31 |
| | 検査試薬(購入) | — | 3.26 | 5.6 | 7.1～22.6.30 |
| | 医薬品単価購入(1088品目)(購入) | — | | | |
| J東京新宿メディカルセンター※ | 解析付心電計1式(一) | — | 4.14 | 4.15 | 5.31 |
| J東京蒲田医療センター※ | 内視鏡ビデオシステム賃貸借(購入) | — | 5.14 | 5.17 | 7.1～26.6.30 |
| J横浜中央病院※ | 検査試薬単価契約(購入) | — | — | 5.11 | 7.1～22.6.30 |
| | 医薬品単価契約(購入) | — | — | 5.12 | |
| J相模野病院※ | タオル等賃貸借業務委託1式(購入) | — | 5.10 | 5.10 | 7.1～23.6.30 |
| J三島総合病院※ | 医療用画像管理システム(一) | — | 5.11 | 5.12 | 7.31 |
| J可児とうのう病院※ | 診療材料等単価契約1式(購入) | — | 5.6 | 5.14 | 7.1～23.6.30 |
| 金沢大学附属病院 | 内視鏡業務支援システム1式(購入) | 4.9 | 5.24 | 6.25 | 12.28 |
| J金沢病院※ | 内視鏡器機賃貸借契約(VPP契約) | — | 5.21 | 5.21 | 6.1～26.5.31 |
| J若狭高浜病院※ | 医薬品単価購入(購入) | — | 4.7 | 4.8 | 5.1～22.6.30 |
| 京都大学附属病院 | CPFユニット1式(購入) | 4.22 | 5.24 | 7.2 | 22.3.31 |
| J大和郡山病院※ | CT機器更新1式(購入) | — | 4.15 | 4.15 | 5.1～8.31 |
| 大阪大学大学院薬学研究所 | イオントラップ高分解能質量分析計システム1式(購入) | — | 5.24 | 6.25 | 11.24 |
| 大阪労災病院 | ICU/CCU/HCU用生体情報モニタリングシステム1式(購入) | — | 5.20 | 5.21 | 12.31 |
| | 病棟生体情報モニタリングシステム1式(購入) | | | | |
| | 人工呼吸器1式(購入) | | | | |
| | 内視鏡関連ME機器1式(購入) | | | | |
| | ICU/心カテ関連ME機器1式(購入) | | | | |
| | 泌尿器科超音波画像診断装置1式(購入) | | | | |
| | 汚物処理室関連機器1式(購入) | | | | |
| 実験台関連機器1式(購入) | | | | | |
| 広島西医療センター | 医薬品1式(購入) | 随時 | 5.24 | 5.26 | 7.1～22.6.30 |
| J徳山中央病院※ | 診療材料等調達1式(透析関連)(一) | — | 4.9 | 4.12 | 4.21～22.6.30 |
| Jリトリン病院※ | カーテンおよびロールスクリーン等賃貸借および保守点検契約(購入) | — | 5.10 | 5.10 | 7.1～28.6.30 |
| 福岡東医療センター | 特別管理産業廃棄物・産業廃棄物処分業務委託1式(購入) | — | 5.21 | 5.24 | 7.1～22.6.30 |
| 九州労災病院 | 内視鏡カメラシステム1式(購入) | — | 5.20 | 5.24 | 6.30 |
| J九州病院※ | 一般廃棄物収集運搬処理業務委託(購入) | — | 5.13 | 5.14 | 7.1～24.6.30 |
| J久留米総合病院※ | 医事業務委託およびA外来受付業務委託契約(一) | — | 4.15 | 4.16 | 11.1～24.10.31 |
| J佐賀中部病院※ | X線透視撮影装置2式(一) | — | 5.19 | 5.20 | 9.30 |
| J松浦中央病院※ | PCR検査装置1式(購入) | — | 4.16 | 4.28 | 5.28 |
| J諫早総合病院※ | 医薬品SPD業務委託1式(一) | — | 4.23 | 4.23 | 7.1～24.6.30 |
| 長崎県警察 | DNA型鑑定用消耗品単価契約(購入) | — | 5.10 | 5.11 | 説明書による |
| J南海医療センター※ | 経営改善に係るコンサルティング業務委託(一) | — | 4.19 | 4.19 | 5.1～22.3.31 |
| | 医師事務作業補助者人材派遣業務(一) | — | 4.16 | 4.16 | |

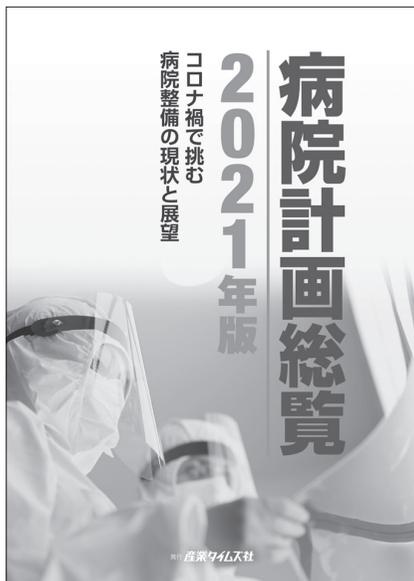
21年3月29日～4月2日官報掲載。納入施設に※が付いている案件は官報掲載以外の公告で、参加申請期限が3月29日以前の案件を含む。病院名にJが付くのはJCHO病院。

(了)

コロナ禍で挑む病院整備の現状と展望

病院計画総覧 2021年版

- 大学病院や医療法人などの取り組みを紹介
- 2019～20年に開院した病院の最新設備に触れる
- 各都道府県の保健医療計画とコロナ対策を掲載
- 全国各地で繰り広げられる病院整備を網羅



内容構成

- ◆ 巻頭特集① 自治体や病院が取り組む
新型コロナ対応策
- ◆ 巻頭特集② 加速するがん全ゲノム解析
- ◆ 第1章 全国病院ネットワーク/
グループの最新動向
- ◆ 第2章 全国各地で開院した新病院
- ◆ 第3章 各都道府県の保健医療計画
- ◆ 第4章 全国都道府県別の個別病院
整備計画

■ 定価…27,500円(税込)
■ 体裁・頁数…B5判 556頁

WEBにてサンプル公開中

<https://www.sangyo-times.jp/>

(お申し込みはFAX03-5835-5492で!)

「病院計画総覧 2021年版」申込書

申込 年 月 日

| | | | |
|---------------|---------------|------------|----------|
| 所在地 | 〒 | | |
| フリガナ | | | 電話 () 局 |
| 会社名 | - | | |
| 御購入 部 課 名 | | 担当者 ご芳名 | |
| E-mail | | | |
| お冊 申込 数 | 定価27,500円(税込) | × | () 冊 |

出版物の
お問い合わせ先

株式会社産業タイムズ社
〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-10-5
TMMビル3階
販売部 TEL.03 (5835) 5892
FAX.03 (5835) 5492
広告 TEL.03 (5835) 5893
編集 TEL.03 (5835) 5896

法人のお客様:
申込書到着後、請求書を同封にてお送りします。
個人のお客様:
代引きにてお送りします
(手数料330円を別途ご負担願います)
送料500円
(税込5,000円以上のご注文で送料無料)